

練馬区の将来像を考える区民懇談会
区民生活分野分科会
第4回 議事概要

日時：平成19年11月19日（月）18:30～20:30

場所：練馬区役所本庁舎19階 1902会議室

出席者【50音順】

阿部財智、奥村隆史、尾崎九一、川井淳子、清水幸子、西塚正美、平野一枝、堀山みどり、山口不二夫、若井治子、渡邊和嘉

1. 討議

（1）本日の進め方・中間報告に向けた検討の進め方について

－コーディネーターの田中氏、事務局（コンサルタント）から、本日の進め方及び中間報告に向けた検討の進め方について説明した。

（2）グループ討議：課題・問題点の確認、再整理と将来像の設定について

－3グループに分かれ、第2回、第3回の討議結果にもとづく課題・問題点と将来像について、その確認と修正を一括して行った。

－各グループの討議結果をそれぞれの代表者が発表した。

* Aグループ（絆とやすらぎの町）：

阿部財智、清水幸子、西塚正美

* Bグループ（誰もが生き生き暮らせる元気な町）：

奥村隆史、川井淳子、若井治子

* Cグループ（農緑（のうりよく）のある町）：

尾崎九一、平野一枝、堀山みどり、山口不二夫、渡邊和嘉

【討議結果要旨】

■ Aグループ：（絆とやすらぎの町）

- ・当グループのテーマは交流、安全・安心のまちづくりの大きくに分かれている。
- ・交流は、自治会と地区区民館等の身近なコミュニティ施設などに関する事、安全安心は防災、防犯、防火、高齢者・障害者・子ども等の安全・安全に関する事である。

*交流について

- ・町会、自治会と区で設置する機関との連携やNPO・ボランティア等の活動の促進・支援、地域活動の場となる施設の充実・施設運営、町会・自治会の活性化・財政支援を課題として取り上げた。その中でも、区民館・地区区民館の運営の活性化、町会・自治会の活性化と、そのための区からの支援が特に重要であるとの結論に至った。

*防災・防犯については

- ・東京湾北部地震に対する練馬区としての被害想定ハザードマップの作成、飲料水確保のための緊急貯留槽の公共施設への設置、街路灯の拡充により、安心して暮らせるまちにしたい。
- ・高齢者・障害者、幼児に対する安全安心に関して、できるだけ歩道を整備し、バリアフリーで安心できる環境を整備することが重要である。

■Bグループ：（誰もが生き生き暮らせる元気なまち）

- ・当グループの将来像（目指す姿）は、第2回討議結果の「誰もが生き生き暮らせる元気なまち」のままで良いだろうと考えた。
- ・重点テーマ（将来像）の中項目のうち「伝統文化のあるまち」については、文化は守るだけでなく創造性が必要だろうということで、「文化を守り、生み出すまち」とし、同様の趣旨の個別論点も追加した。また、中項目の「活力ある地域産業」において、「個性ある、特徴ある産業の育成」を個別の論点に追加した。
- ・課題の抽出においては、中項目の「人材活動」に男女共同参画の視点がないことからこれを追加した。また、ここに子育て支援の個別論点として母親の支援があるが、母親に限定しない方が良いだろうと考え、「子育て世代への支援」とした。
- ・さらに、「人材活用」の中に「年輩者の社会参画できる雰囲気づくり」を追加した。

■Cグループ：（農緑（のうりよく）のあるまち）

- ・将来像について、中項目の「暮らしにみどりがあふれるまち」、そのなかでも小項目の「花と緑のある街角」が重要であり、街角にみどりをおきたい、ということを中心に大きく取り上げたいと考えた。また同様に、小項目の「緑ゆたかな楽しい公園」と「農を活かしたまち」も重要である。
- ・これらを総合した「暮らしにみどりがあふれるまち」が重要であるが、「みどり」とは何を指すのかを明確にする必要がある。街角の街路樹、公園の木々、練馬の原風景である農、みどりを大きくこの3つに区分して整備していくことが大切であると考えた。
- ・中項目の「楽しく安らげるまち」は、Aグループのテーマに包含すべきであると考えた。
- ・課題の中項目にある、「緑は人類の共有資産、緑との共生」を当グループの将来像の全体テーマにし、現テーマは「農緑（のうりよく）を育むまち」として、サブタイトルとす

べきと考えた。

- ・課題の中項目にある「小規模な農家が生き残っていけない」は、農業政策に移してほしい（事務局注：農業政策も当分科会の分野であるため、引き続き本テーマ内で取り扱うこととなった）。
- ・課題の個別論点に「歴史遺産&神社仏閣の再評価」という論点は、土と緑を活かした建物を建てるような基準を作ったうえで、歴史的なものも活かしてほしいと考えた。
- ・「みどりを考える視点として」、個、共、公、農とそれぞれ区分して考えてほしい。

2. 中間報告に向けた準備について

ー中間報告の発表者を以下の通り決定した。

＊発表者：西塚委員（Aグループ）、奥村委員（Bグループ）、山口委員（Cグループ）

ー発表者を中心とした中間報告案の打ち合わせの開催日時を以下の通り決定した

＊中間報告案に係る打ち合わせ日時：12月18日（火）18：30～20：30

3. その他（グループ間の意見交換）

- ・防災において、防災拠点は小学校単位では少ない。団地単位で設置するという考え方を盛り込んでほしい。
- ・農業と「農」を分けて考えるという区民意識を育てていきたい。「業」という言葉を入れた産業政策としての農業と地域の生活文化としての「農」を分けた考え方を打ち出してほしい。都市農業には単なる農家の生業としての意味を超えた価値がある。練馬区として、この「農」を活かす考え方を打ち出してほしい。

（以上）